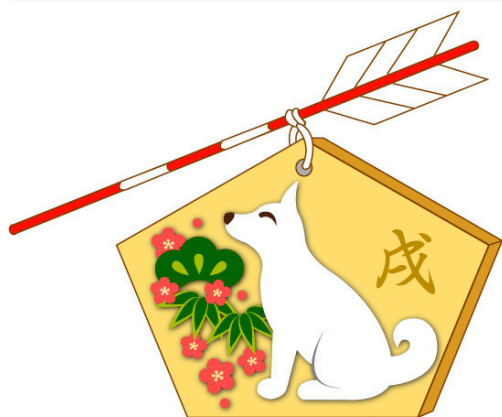




はばたき

第 65 号 【新年号】

発行 一般社団法人日本経営管理協会神奈川県支部
編集責任者 神奈川県支部長 宮原 汎
編集長 石原愛子 横浜市戸塚区平戸町 1137-24
TEL : 090-8041-9125 e-mail:ishihara-a@jima.org



謹賀新年

昨年は神奈川県支部の活動にご協力いただきまして、ありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。
"ワンさか" 幸せが舞い降りる年になりますように！



今年の一文字

新年の心意気を一文字で表しました。

和

宮原 汎（神奈川県支部長）

『和』は私たちに広く行きわたった響きの良い言葉です。その意味するところは、穏やかなこと、むつまじいこと、仲が良いこと、仲を結ぶなどで、神奈川県支部の活動の一部を映し出しています。平成 30 年も引き続き全員参加で、この意味を実行していきたいと思っています。

美

照屋行雄（神奈川県副支部長）

美しく、シンプルに生きたいとの願いから、今年はこの一文字にしました。私たち人間が日々感じる喜怒哀楽の感情に心が支配されることが求められます。カタチのあるこの人生で姿かたちが美しい佇まいこそ、生きる道標とならなければならないと思っています。規則正しく生活し、自分を律する心をもつことで、美しい毎日が確保できるとの信念です。

質

石原愛子（神奈川県副支部長）

Quality of Life. 「人生の質」「生活の質」「身心の質」等、これからの時間を有意義に、そして明るく過ごすために、この一年から新しい気持ちで思考を変えていきたいと思っています。それは、自分が思ったことを行動に移し、クリエイティブな発想をもって過ごすこと。小さな一歩から始めます。



山田宏昌（神奈川県支部 相談役）

これは、3000年以上前の甲骨文字の「幸」という字で、「手枷（てかせ）」の象形文字です。今の「幸せ」の意味からすれば考えも及びませんが、幸せになるためには感謝の気持ちが欠かせないのは今も昔も変わりません。



石井 渙（神奈川県支部 幹事）

安穏無事（あんのんぶじ） 穏やかで安らかなさま・・・
家では小うるさい親父らしい。「外面（そとずら）の良い恰好付け…」、家内と娘の私（わたし）評である。いつも穏やかでありたい、今年こそはと毎年思うのだが。



山田洋子（神奈川県支部 幹事）

昨年から、私の孫娘（3人の末っ子）が難病にかかり入院中です。
まだ25歳。回復を願っての一文字にしました。



関町 肇（神奈川県支部会員）

TV、新聞を通して見えてくる世相、新聞の新刊本の書評、本屋の書棚に並ぶ本の題名を見ていると、私には<資本主義は新自由主義、市場原理主義を経てもはや制度疲労で終焉し新しい価値観の新時代が登場してくるのではないかと>、また一方では<人間が開発した人工知能はやがて生みの親を超え、人類を支配する時代が悪夢でなく本当にくるのではないかと>という気持ちにさせられている。平成30年は耳を澄まし、眼を凝らすとそんな「兆（きざし）」が実際に聞こえる、見える年になるのではないかと、という気配を感じています。



南波正司（神奈川県支部会員）

「義」としました。小生の生き様として「義を見てせざるは勇なきなり」があること。故郷の名将、上杉謙信がライバルの武田信玄に塩を送ったとエピソードがあり、武士道で常にフェアプレイ（&フェアウェイ）を目標に努力したいと思っています。



下村 宏（神奈川県支部会員）

20年来の付き合いのあるコンサルティング会社から、やはり20年前に関与したクライアントのプロジェクト支援をする機会に恵まれました。長い縁をつないで再び接点が作れると、それまでにない強い成功への思い入れが生まれました。この気持ちを味わい続けたいとの思いからこの字が浮かんできました。



児島健介（神奈川県支部会員）

「歩」けば、棒で叩かれるかもしれません。しかし、思わぬ幸運に出会うこともあります。今までの自分の枠にとらわれることなく、勇気をもって、「歩」み続ける成年にしたいと思います。

日々の生活を充実させる目標を持とう！

神奈川県支部長 宮原 汎

厳しい冬が去り、春が来ると、一年を健康で楽しく過ごすため、また、日々の活動源とするため、例年12月に行われるホノルルマラソンの完走を目標にして年間活動に取り組んでいる。

2017年は45回記念のホノルルマラソンであったが、夏に体調維持のため、全長42.195Kmの50%をランニング、そして50%をウォーキングという助言を医師から受けて参加した。

おかげで、余裕をもってゴールをめざしたので、地元の人々の差し入れや応援、中高校生のボランティア支援、マラソン風景の写真撮影を楽しむことができた。

年輪を重ねると、運動機能が低下したり、何かと判断を急ぎがちだが、年間を通して元気に活動・行動できるよう、また、

マラソン完走という年間目標を達成するため、日々の積み重ねを大切にしている。完走タイムも年々遅くなっているが、10年以上続いた12月のホノルルマラソンは自身の動機づけのイベントでもある。

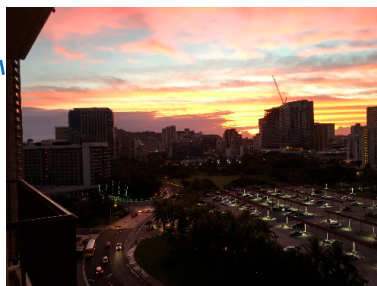
ここに、昨年の様子を写真で紹介して、皆様の健康管理への動機づくりに貢献できれば幸いである。



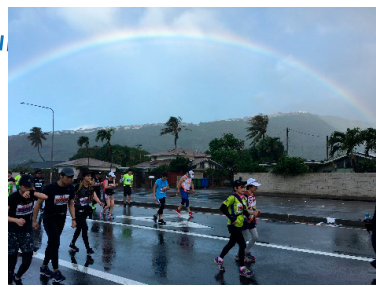
ホノルルマラソンの様子



6時前にホノルル市役所の前を走るランナー



明け方のホノルル市内



霧雨の中、虹を後ろに走る



青空が疲れた足を元気づける
(17マイル付近)



迫りくる大集団



完走後にワイキキを歩くランナー



完走者に送られる
“完走Tシャツ”

神奈川県支部 箱根研修報告

2017年11月19日(日)～20日(月)一泊二日の神奈川県支部恒例の箱根研修が箱根の小涌谷「金型はこね荘」で行われました。今回は支部以外の方々を含め16名が参加されました。



宮原支部長挨拶



箱根研修の様子

日曜日ということもあり、道路の交通渋滞等の事情により開始時間は30分遅れたが、各自が「時流を斬る」のテーマを発表し17:30分に終了しました。若杉明会長より広範に及ぶテーマにも拘わらず、個々の発表に対し、それぞれの確かつ鋭い論評をいただきました。その後質疑応答の時間を設ける形式にしたが、時間的制約がある中で、活発な意見交換が行われ研修効果を深めることができました。

時流を斬る

神奈川県支部研修

上段：発表者 下段：テーマ



石井 渙

「1080兆円の借金大国、日本は大丈夫なのか」



石原愛子

「老人の取扱説明書」による老人の実態と老人の理解及び『新老人』になる為の自覚と覚悟」



石井洋子

「変化こそが生命の真の姿である」



下村 宏

「RPA: ロボティック・プロセス・オートメーション (Robotic Process Automation) 管理・間接業務の効率化に向けた改革の新たな潮流」



齊藤 誠

「美容室開業の心得」



山本和夫

「持続的成長に向けた長期投資 (ESG・無形資産) 研究会報告書 (伊藤レポート2) を読んで」



諏訪部栄亮

「名門企業 東芝の経営危機を解く」



若杉敬明

「行動経済学・行動ファイナンス」



田川 武

「絵を描くことと老化進行防止の因果関係 (趣味を持つことがいかに大切かを考えよう)」



山田宏昌

「AI (人工知能) は人間を凌駕するか?」



南波正司

「スマート・ファクトリー (Smart・Factory) 課題と展望」



宮原 汎

「歩きスマホに思う」

忘年会・懇親会・ビンゴゲーム



研修後は箱根の源泉にゆっくり浸かり、大広間にて懇親・忘年会が盛大にとり行われました。はこね荘の美味しい料理や恒例となったビンゴ大会など大いに盛り上がり和やかな雰囲気と共に楽しく交流を重ねました。さらに、2次会、3次会まで盃を交わすなど懇親を深めて充実した内容と楽しさ溢れる1泊研修となりました。



11月19日は若杉明会長のお誕生でした。神奈川県支部一同として、米寿のお祝いをいたしました。若杉ブランドとして、世界にひとつの新米（新潟産）を石原副支部長が代表して贈呈いたしました。若杉会長、おめでとうございます！



大橋千春さん



中村祥代さん

事務局のお二人も参加していただきました。各自の発表を聞いて、「内容が濃く神奈川県支部独自の“時流を斬る”テーマはとても興味深い」という感想をいただきました。(^^)/



懇親会は船盛もあり、美味しいお酒とともに、楽しい会話が続きまして(^^)/恒例のビンゴゲームも行われ、各自が用意したプレゼントをワクワクしながら、交換いたしました!(^^)!お疲れ様でした(^^)♪



今年もお疲れ様でした(^^)♪



私からあなたへ贈ります…(^^-^^)





俳句を詠む

季題
△新年▽

初詣神池の鯉も並びをり

原稿の文字を増やして三ケ日

松過ぎて記録ダイエット始めをり

照谷雨鵬

獅子舞に頭咬まれて笑う子ら

粥の日に母の教えし鈴菜すずしろ

新党で新年迎え悩む議員（ひと）

山田宏昌

年越しの港をわたる汽笛かな
双六も時代を映す老いの春
青空に晴れ着まぶしく初詣

宮原 汎

年 新 た 易 き に つ く な と 独 り ご つ
初 夢 や 夜 空 の 果 て の 極 光 か な
初 ナ ズ ナ 食 し て 祈 願 邪 気 払 い

南波正司

蠟梅に春の香さがす初詣

石井 渙

重篤の孫娘にまで祈るや去年今年
白寿の義母を見舞うその手に初暦

山田洋子

吾影に飛び急ぎせず初雀

浅学の語彙を選びをる初句会

「芝浜」を聴いて晦日の蕎麦の膳

石原 愛子

川 柳

忖度を流行語にした我が日本

A-1に負けはしません忖度力

当選したが希望もてぬとボヤク議員

ヒ口坊

喜寿を祝福されて

12 月度の定例研修会が終わってからの懇親会は例の大陸食堂だろうなあ、と考えていましたら、今日は野毛の鳥料理屋に行くという。

そこで、全く思いがけず支部の皆様から喜寿のお祝いを頂戴することになりました。びっくりしました。確かにあと二週間で満77歳(12月30日生まれ)なのです。

石原愛子副支部長から神奈川県支部一同と書かれた目録とメッセージ・カードを贈呈されました。「目録」に、「古酒泡盛 久米仙 一箱」とあり、メッセージ・カードを開いたところ正にホールインワンというショットがイラストと共に立体的に飛び出てきました。大好きな泡盛と趣味のゴルフに因んだ素晴らしいプレゼント！心から感謝申し上げます。ただし、このメッ

山田宏昌（JIMA 理事長・神奈川県支部相談役）

セージ・カードには「JIMAを希望のホールにカップインさせてください」との注文がありました。

この「希望」は皆様の希望ですから、はい、老骨にムチ打ってできる限りの努力をしていきます。皆様の叱咤激励をお願い申し上げます。

年齢だけは努力しないでも重ねられますが、今改めて思うのは健康な身体をくれた両親への感謝です。どうか皆様も「幸せ」の源である健康を大事になさって、元気に長生きをしてください！

この度は本当に有り難うございました。

